

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果一覧表
 (平成27年度の各事業の重要業績評価指標(KPI)の達成度)

指標(KPI)			27年度			目標達成度(%)						
			単位	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125	150
1	まちのイノベーター養成事業(政策推進課)	地域住民を巻き込んだイベント	件	3	6	200.0%						
		上記イベントの集客数	人	300	380	126.7%						
2	まちづくり協力隊事業(政策推進課)	住民票から見た社会増数	人	50	19	38.0%						
3	移住者居住支援事業(政策推進課)	県外からの移住者	世帯	2	3	150.0%						
4	大神海岸線観光振興事業(商工観光課)	観光入込客数(大神地区)	人	110,000	126,585	115.1%						
5	創業支援事業(商工観光課)	創業件数	件	8	8	100.0%						
6	空き店舗対策事業(商工観光課)	空き店舗活用事業者数	店舗	2	1	50.0%						
7	空き工場利活用促進事業(商工観光課)	工場借受企業数	事業所	2	1	50.0%						
8	雇用拡大推進事業(商工観光課)	新規創業社数	社	2	3	150.0%						
		新規雇用者数	人	14	15	107.1%						
9	経営革新企業成長促進事業(農林水産課)	銀杏酢生産量	kl	30	0	0.0%						
10	次世代を担う園芸産地施設整備事業(農林水産課)	新規雇用者	名	2	2	100.0%						
11	「日出の幸」ブランド化推進事業(農林水産課)	海面養魚場へのマコガレイ稚魚投入数	匹	1,000	1,000	100.0%						
		観光入込客数	万人	110	115	104.5%						
12	新規需要米緊急拡大事業(農林水産課)	転換面積	ha	12.55	12.55	100.0%						

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

担当課名	政策推進課
------	-------

交付対象事業名	まちのイノベータ養成事業		実績額(単位:千円)	790
事業概要	目的	自分の得意とする分野で町の活カアップにつなげたい、起業をしたい、ボランティアを始めたいなど町民の思いを実現することを応援する事業。	内容	県内の大学や全国のまちづくりリーダーなどを招へいしてワークショップやフィールドワークを行う。 ①やりたいことを実現するワークショップ(まちの部活サロン) ②若者の働き方、子育て世代のワークライフバランス等を考える勉強会 ③地場産業を体験するフィールドワーク
	事業目標	住民自らが考え仕事をつくり、地域を支える人材を発掘する。		

【目標指標】

指標(KPI)		単位	年度	27年度			目標達成度(%)												
			基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125								
i	地域住民を巻き込んだイベント	件	—	3.0	6.0	200.0%													
ii	上記イベントの集客数	人	—	300.0	380.0	126.7%													

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に相当程度効果があった	住民から声が上がっていた糸ヶ浜海浜公園でのサップショップやカフェのオープンなど平成28年度の事業につながった。また、町の周縁部にある地域でのサロンも高齢者とまちづくり協力隊と一緒に始めており、住民主体の事業展開が本事業によって可能となった。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	政策推進課	
交付対象事業名	まちづくり協力隊事業		総事業費(交付金充当額)	4,343(3,720)
事業概要	目的	都市地域から生活の拠点を本町に移し、一定期間地域に居住して、まちづくり事業の支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。	内容	まちづくり協力隊2名を採用し、移住・定住にむけた都市部でのPR活動、観光振興および小規模集落支援などに取り組んだ。 また、先輩移住者の立場から移住相談業務等を行っており、今後の移住促進における重要な役割を担うことが期待される。
	事業目標			

【目標指標】

指標(KPI)		単位	26年度	27年度			目標達成度(%)				
			基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125
i	住民票から見た社会増数	人	-3.0	50.0	19.0	38.0%					
ii											

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	KPIの達成には至らなかったが、移住・定住施策の推進は日出町の地方創生への重要事業であるため、まちづくり協力隊に対する期待は高い。今後は移住に特化したコンシェルジュとして協力隊を募集し、空き家バンク物件の掘り起しやお試し居住、移住体験ツアーなどを展開していき、KPIの増加に資するよう努めたい。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	政策推進課
交付対象事業名	移住者居住支援事業		総事業費(交付金充当額) 1,400(860)
事業概要	目的	県外者の移住を促進するため、移住者に対して住宅を確保する経費に対して助成する。	内容 移住予定者または所有者の要件に応じて、以下のとおり最大145万円の助成を行う。(県補助1/2) ①仲介手数料補助(5万円) ②家財処分補助(10万円) ③住宅新規建設・改修等補助(100万円)※H28から廃止 ④引越補助(20万円) ⑤移住奨励金(10万円)
	事業目標	新しい人の流れをつくり、定住を促進する。(H31年度までに累計50人)	

【目標指標】

指標(KPI)		年度	27年度			目標達成度(%)					
			単位	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100
i	県外からの移住者	世帯	-	2.0	3.0	150.0%	■				
ii											

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	目標値に対して達成度は150%となっているが、3世帯と少ない。県外都市部でのPRや各種施策との相乗効果を図りながら、移住者数の増加に努める。なお、平成28年度は6月現在で既に3世帯(7名)が移住(一部は予定)しており、県と連携した取り組みの効果が上がっていると考えている。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	商工観光課
交付対象事業名	大神海岸線観光振興事業		総事業費(交付金充当額) 10,476(9,480)
事業概要	目的	歴史的遺産である「回天」大神訓練基地を後世に伝えるための見学ルート整備に向けて遺構調査を行う。また、観光資源が点在する大神海岸線の観光振興を図るため、観光周遊ルートの確立に向けた整備・活用プランを策定し、それを実行することで、観光推進を図っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的遺産及び観光資源として活用するための遺構調査費 ・観光施設利活用・整備プラン策定費
	事業目標	大神海岸線の観光振興	

【目標指標】

指標(KPI)		年度	27年度			目標達成度(%)					
			単位	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100
i	観光入込客数	人	107,544	110,000	126,585	115.1%					
ii											

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・大神訓練基地跡を専門業者による調査したことで横坑公開や保存(安全性の確保)にむけての基礎資料ができた。 ・観光振興ビジョンを策定することでコンセプトが明確となり、今後観光振興施策を推進していく指針ができた。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	商工観光課
交付対象事業名	創業支援事業		総事業費(交付金充当額) 713(550)
事業概要	目的	創業による新たなビジネスや雇用の創出を促進するため、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、創業者の交流会やセミナーイベントを開催したり、創業に係わる費用の一部を助成する。	内容 ・商工会、金融機関などと連携にかかわるセミナー、講演会を開催する。 ・平成27年度中に従業員1名以上雇用し、町内で創業、開業を行う個人または法人に対して10万円の助成を行う。
	事業目標	年間創業者8件(創業支援事業計画に掲載)	

【目標指標】

指標(KPI)		年度	27年度			目標達成度(%)					
			単位	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100
i	創業件数	件	-	8.0	8.0	100.0%					
ii											

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	創業を促進させ雇用を増やす取組は地方創生の目的の一つに当たる。 日出町創業支援事業計画においては、年間の目標創業件数を8件としている。 目標を達成したことにより、地方創生に一定の効果はあると考える。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	商工観光課
交付対象事業名	空き店舗対策事業		総事業費(交付金充当額)
		1,260(1,080)	
事業概要	目的	空き店舗が散在する商店街の活性化と賑わいのあるまちづくりを進めるために、空き店舗を利用して新たに事業を始めようとする事業者が必要となる費用の一部を助成する。	内容 操業に必要な経費 ・空き店舗の改修費:1/2助成 上限100万円/1件 ・空き店舗の賃貸料:1/2助成 上限2万円×13ヶ月
	事業目標	地域の魅力発信、潜在的希望者を移住・定住に結び付ける。	

【目標指標】

指標(KPI)	単位	年度	27年度			目標達成度(%)														
		基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125										
i	空き店舗活用事業者数	件	2.0	2.0	1.0	50.0%														
ii																				

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	空き店舗を活用し、店舗・雇を増やすため、事業を見直し、28年度も引き続き実施する。 27年度は目標の2件を達成できなかったが、補助金内容や開店の相談などが増えてきている。今年度は申請までには至らなかったが、以前では受けなかった相談も増えており、事業実施の成果がこれから期待できる。 今後は補助対象を既存店舗の改修費にも拡大して、商店街の振興と活性化を図る。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	商工観光課
交付対象事業名	空き工場利活用促進事業		総事業費(交付金充当額) 11,809(10,694)
事業概要	目的	創業による新たなビジネスや雇用の創出を促進するため、空き工場となっている町有施設の有効活用をする。そのため、調査と共に操業にかかる費用を助成する。	内容 操業に係る経費 ・非常勤職員人件費 267.1万円 ・企業誘致にかかるコンサル経費 374.8万円 ・施設改修のための費用一部助成 500万円 ・企業折衝のための旅費等 33.3万円 ・印刷製本 6.5万円
	事業目標	工場借受企業数 2事業所	

【目標指標】

指標(KPI)		年度	27年度			目標達成度(%)													
			単位	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125							
i	空き工場借受企業数	事業所	2.0	2.0	1.0	50.0%	■	■											
ii																			

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に相当程度効果があった	<p>製造業等、事業所を誘致することは容易ではないものの、空き工場を活用し企業誘致をめざす取組は、仕事を生み出すとともに雇用を拡大させるため、その波及効果は多大である。</p> <p>平成27年度は年間の目標活用件数を2件(事業所誘致)と設定したが、1事業所を誘致するに至り、地方創生に一定の効果はあるものとする。今後は企業訪問等を積極的に行い、成果につなげていく。</p>

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

		担当課名	商工観光課
交付対象事業名	雇用拡大推進事業		総事業費(交付金充当額) 7,500(7,000)
事業概要	目的	人口増加の町であった本町も学生や雇用の場を求める若者の転出により、人口減少の町へと変わりつつあることから雇用の場を創出する必要がある。町内において創業による新たなビジネスへの取り組みや新規雇用の創出をする事業者に対して経費の一部を助成する。	内容 創業に係る経費 ・新規雇用に伴う人件費 1人当たり50万円 限度額500万円/1社 (ただし、施設や設備の投資に300万円以上を費やし、かつ3人以上の雇用を行う事業所)
	事業目標	事業所の新設、増設、新規分野への進出による投資促進。雇用の創出、拡大を図る。	

【目標指標】

指標(KPI)		年度	27年度				目標達成度(%)												
			単位	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125							
i	事業対象社	件	2.0	2.0	3.0	150.0%													
ii	新規雇用者	人	14.0	14.0	15.0	107.1%													

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	事業所の新設・増設、新規分野への設備投資を促進することは、雇用の拡大につながり一定の効果があった。本事業を契機として、28年度以降は助成金額を一人当たり30万円(単費)と減額するが、引き続き事業実施により、設備投資・雇用の拡大を促進したい。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

担当課名	農林水産課
------	-------

交付対象事業名	経営革新企業成長促進事業		総事業費(交付金充当額)	0(0)
事業概要	目的	ギンナン生産農家とビジネス展開を図る企業が取組む健康食品づくり(銀杏酢)に対して、農家の労力軽減と商品の六次産業化推進のため助成を行う。	内容	事業拡大のために必要となる甕の導入に対し助成(補助率1/2)
	事業目標	六次産業化による雇用創出で地方出身者の地元就職など新しい人の流れづくりを目指す		

【目標指標】

指標(KPI)	単位	年度	27年度			目標達成度(%)														
		基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125										
i	銀杏酢生産量	kl	0.0	30.0	0.0	0.0%														
ii																				

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果がなかった	事業中止のため

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

担当課名	農林水産課
------	-------

交付対象事業名	「日出の幸」ブランド化推進事業		総事業費(交付金充当額)	14,929(14,000)
事業概要	目的	日出町の水産業は、「城下かれい」「日出の鱧」「別府湾ちりめん」などブランド化は確立しつつあるものの、近年の漁獲量の減少、魚価に低迷、漁業従事者の高齢化と減少、消費者の魚離れなどにより厳しい状況にある。 このような状況の中、水産業振興策として、消費者が求める鮮魚の絶対数の確保や新たな商品開発に努めることにより漁業者にとって安定した収入が得られるよう取り組む。	内容	車エビ養殖場跡地を活用してマコガレイの長期育成に努め、大型種苗の放流により城下かれいの増産を図った。また、近年力を入れているカキ養殖の増産や県内でも有数の水揚量を誇る鱧(はも)の加工処理による付加価値を加えることにより消費拡大を図った。 これらの施策に対して、専門家との協議費用、環境整備や販路拡大などに必要な経費を支援した。
	事業目標	マコガレイ漁獲量:年間5t(平成29年度)		

【目標指標】

指標(KPI)	単位	年度	27年度				目標達成度(%)				
			基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125
i	マコガレイ稚魚放流数	匹	0.0	1000.0	1,000.0	100.0%					

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 日出町特産であるマコガレイの増産体制を整備するとともに、育成業務については地元漁協を通して地域住民に委託することで、雇用の創出にもつながった。 牡蠣の生産について、本養殖に取り組むに当たり必要な施設整備について補助を行い、販売体制を整えた。整備については、地元漁師との協議を密に行うことで、現場に沿った整備を行うとともに、「日出の牡蠣」ブランド化に向けた意欲の向上にもつながった。

(加速化交付金事業)H28年度実施

- 引き続きマコガレイ稚魚の長期育成を行う。本年度は平日の作業についても委託し、育成体制を強化するとともに雇用の創出も図る。
- クルマエビ養殖場跡地について、2面あるうち陸側の池をナマコの育成に利用できる状態へと整備を行う。
- 牡蠣養殖について出荷資材や種苗費などを補助し安定的な生産体制を支援する。

(単位:千円)

地方創生交付金事業評価調書(27年度実績)

担当課名	農林水産課
------	-------

交付対象事業名	新規需要米緊急拡大事業		総事業費(交付金充当額)	3,765(3,000)
事業概要	目的	米価が下がるなか、生産者の経営安定を図るため作付転換が比較的容易な「新規需要米(飼料米・WCSなど)」への早期転換を促進する。	内容	転換作付面積に対し助成(30,000円/10a)
	事業目標	担い手の育成・経営規模拡大等を通じた生産性向上、ブランド化・高付加価値化を目指す。		

【目標指標】

指標(KPI)	単位	年度	27年度			目標達成度(%)					
		基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125	
i	転換面積	ha	0.0	12.55	12.55	100.0%					
ii											

【目標の達成状況と今後の施策展開について】

評価	事業の評価(目標に達した理由または達しなかった理由)地方創生への効果等
地方創生に効果があった	米政策見直し(目標配分の停止)までに、早期に主食用米から新規需要米へ作物転換を促す必要があるため、今後も継続する。